

先貧  
生幸  
多佳  
餘字  
辭









何事をきくべし。此保羅の書  
聞かせませう。此一章ハ。顔子忠  
貧乏を苦ふかりまじ。此書の  
かゝることを。聖人のお答に  
處じや。とりて。貧乏を樂しむ  
つぐいふ。貧乏ハむじや。樂

書の。貧乏は書の。一こ  
邪魔をせん。此は。樂しむ  
鯛の果實漬。まづ此の味  
その程。余樂しんぐ。目  
寺の。時と。ふとい。この。家  
むむ書。有る。是。見。書。は。之。



和題多佳餘字辭

安永九子初春

不埒散人誌

負幸先生 多佳餘字辭



箱崎町  
二丁目

疏飯と喰い水との。膳をまげ。  
枕画の新よのながめ入る。負幸先生  
賀長持と唐机小虫し。斗待百編  
百錢乃宵越ち。楽中おのけ。踏ちの  
す。入。空の且月の夕ちいと有れば



青樓乃在東冬年の仕まひもぎちく  
まの改る常のまもねるふなれど初買の  
趣向と出来ど今之拾貳冊用と欲する  
酒屋の長者先生 弓 取来るモウニ合  
はつと喜ひドウモ けが所の酒も瓶瓶ハ呑め  
なんはさび人が習うて借りの有るせん  
ちんし氣とほきくやと後よコリヤア ころし

現今は徳と 長吉 十一 ころひまづらごぎ一か  
目形も書れもおまのめ子ごう。先生様ハ  
はがむらうーいキまらんとほわくとと。  
夢場の酒はほぎやせおいそれ何ころくって  
とあるのら。モシ先生る。晩ハ帳とらの祝言  
お室引成りやす。おまもゆ出なち一。  
先 踐きーーくまらる。ころしも新氣。



























箱寄町  
二丁目  
清

長江を流る水の一まは先ぬてエヤ

と長江にゆかり世々の  
先ぬてエヤ

うも成先  
コハ一まは先ぬてエヤ

市を出入中ききし人俄にかう志中か  
先ぬてエヤ

中まわりの屋も事をと得た  
先ぬてエヤ

おやまらぬ用何所ふらぬおろしは  
先ぬてエヤ

せのハ先ぬてエヤ  
拙者も四條甚乃

不仕す心よらん  
先ぬてエヤ

ませぬ市ん易さのま  
先ぬてエヤ

れく味りもまをた種あつて  
先ぬてエヤ

果ハ一まは先ぬてエヤ  
先ぬてエヤ

あけいさ中この先け  
先ぬてエヤ

月おまへつさんち  
先ぬてエヤ

りき中先  
先ぬてエヤ



衣 コリヤ見わけごの油ふ。子母一  
 かのこの先 ともも夕ア。子母一 けあつて  
 買入 継ぐあつたふぐ。ハア 胡才のちあつ  
 かんごをりご衣 子母一 けあつて  
 生男の髪すきふ。モシエ 冬年もあつて付  
 ふ。シケとの子母一 継とやごごごご  
 ちる後主 先 かんごをり けあつて

衣 カア きんご 先 ドレ けあつて  
 けあつて 衣 けあつて けあつて  
 見も新しあつたのさ。きんごの連ふ 継とや  
 けあつて 先 けあつて けあつて  
 けあつて 衣 けあつて けあつて  
 けあつて 先 けあつて けあつて  
 けあつて 衣 けあつて けあつて  
 けあつて 先 けあつて けあつて



素直寺。武田より傳へたる也。當り有り。と。  
寺に於ては。先<sup>コトト</sup>道<sup>ミチ</sup>乃<sup>ノ</sup>  
ら。別々行ふ也。ありまは。福多<sup>フクタ</sup>  
のまはす。は。河<sup>カ</sup>先<sup>サキ</sup>サ。多<sup>タ</sup>す。ま<sup>マ</sup>  
と。め。ぬ。衣<sup>イ</sup>。其<sup>シ</sup>。い。何<sup>ナニ</sup>の。ま<sup>マ</sup>  
す。め。ら。あ。い。は。ま。聖<sup>セイ</sup>。行<sup>ユク</sup>。  
相<sup>アヒ</sup>。寺<sup>テ</sup>。有<sup>アル</sup>。相<sup>アヒ</sup>。寺<sup>テ</sup>。と。と。

武田の。氣<sup>キ</sup>。先<sup>サキ</sup>。と。あ。あ。あ。  
と。ま。ま。行<sup>ユク</sup>。ま。寺<sup>テ</sup>。残<sup>ノコ</sup>。  
也<sup>ヤ</sup>。貴<sup>キ</sup>。衣<sup>イ</sup>。論<sup>ロン</sup>。の。海<sup>カイ</sup>。あ。ず。  
や。ぬ。の。ま。あ。あ。あ。あ。  
と。也<sup>ヤ</sup>。と。當<sup>アツ</sup>。大<sup>ダイ</sup>。の。あ。あ。  
と。か。れ。これ。い。ふ。ち。衣<sup>イ</sup>。サ。カ。先<sup>サキ</sup>。ま。あ。あ。あ。  
田<sup>タ</sup>。何<sup>ナニ</sup>。と。大<sup>ダイ</sup>。衣<sup>イ</sup>。衣<sup>イ</sup>。先<sup>サキ</sup>。ま。あ。あ。あ。  
墓<sup>ボ</sup>。の。寺<sup>テ</sup>。行<sup>ユク</sup>。武<sup>ブ</sup>。田<sup>タ</sup>。と。か。あ。あ。あ。あ。あ。















さいやす。近付にからくまうかなせ **松**  
 志やうやう湯やうや見うける **松** アイム  
 やすくまうらんかなせ **松** いや松がう **松**  
 家に近付ハやう **松** 勅も **松**  
 勅も **松** 勅も **松**  
 有るぞから。かん首張が **松** 又た **松**  
 やまうら **松**

**松** 勅も **松** 勅も **松**  
 さい。二人前の勅と大張と小張と交て **松**  
 かん首張が **松** 小張と **松**  
**松** ちのさい **松**  
 御う **松** 武百 **松**  
**松** コレ **松**  
 け **松**



二丁日

アノ部百松お世話くごせしつ松この松まで  
 丈残式年形ハ能くううが松アリヤアノ  
 近自う松何れもかふよ松おのほろ  
 りんハツム松新着おむう久行うふら  
 松かんが小見世くも春うう下残といふ  
 西しや松子あハさかん松ナニテモ先集  
 物あゝの氣にむつるあうう程まあま

松ナニテをあるのさ先いりも定はうう  
三人見せし松者先見海人松おれれもども三人か  
 く松者着たれおれお見え先とらう正西  
 とをめて形心角を松ハイおううう  
 三人おわう見立よう者先松松くうあうう  
 松松くうあうう松松くうあうう  
 書く形うのを松おうううううう











静海と云ふ文はちやあつたにせむのり。

伊予 とうほのいさよとていづかすはぬも

をんごんおころまらとわらしやうとてい

つまふことおがさんりおれまふとてい

ゆいほつとてい客人が見まふとてい。ア子

あふまうれまふとていおれ見まうとてい。

おれまふとていおれまふとてい。伊予 伊予

初春のけのきまふとていおれまふとてい。

はまらくとていまふとてい。伊予 伊予

とてい客人がこのまふとていおれまふとてい。

とてい客人がこのまふとていおれまふとてい。

とてい客人がこのまふとていおれまふとてい。

とてい客人がこのまふとていおれまふとてい。

とてい客人がこのまふとていおれまふとてい。

伊予 伊予











賞人の氣之面あはれ **子** 大きふ如女活さ **先**  
 如常と常も掛かせりコリヤ仕まんと **子**  
**子** 如女ふふ **先** **松** **ト** ういぎ **上** 着とま  
 くら福ふ **松** 何なにとやのふ 孝けう 家け 疎そ **先**  
 氣き 引ひ けく 飛と くるい 意い 地ち さく **子**  
 志し 不ふ 成な ろろ ず **子** **モ** **イ** 如に くらんふ  
 知ち れれ 心こ 大お きき 志し のの 色し 色し 色し 色し 色し

如女にょにょ **先** **先** **先** **先** **先** **先** **先** **先**  
**庄** **め** **の** **學** **者** **と** **う** **す** **ん** **と** **物** **と** **如** **女** **と** **ふ**  
 ても **こ** **ん** **と** **事** **と** **す** **る** **也** **如** **女** **と** **う** **也**  
 不ふ 敬けい 厚こう **と** **う** **付** **る** **也** **不** **敬** **と** **う** **也**  
**子** **如** **女** **と** **う** **ん** **こ** **ん** **ち** **も** **亦** **と** **う** **不** **敬** **と**  
 下した **と** **う** **脚** **と** **う** **也** **不** **敬** **と** **う** **也**  
 如にょ 出しゅ **と** **う** **と** **す** **也** **松** **小** **屋** **人** **不** **敬** **と** **う** **也**  
 子こ 供こ































河の邊ゆらりと云いながら。今し夜ハ  
 東がけさか。借れも穿くともひがやん日分。  
 子もいふくふんらんきり  
 子しやくしきり  
 松 店布うきうひか  
 病をんも身前不ゆ。揚られそ。おきも  
 芝生をん。部うう。病さ。値星 ホニニ ね付 ホニ  
 かんく。新たのい。松 サア。病をん。一。底。ソ  
 毛ウ七分はらきん。サア。ねう。海らふ。

松 中さかんすう。いひ。ヨウ。をいんぶ。  
 先 マアちん。病。氣を休るや。財ふ言ハ  
 ぢくぶ。と病を出サケ。く。さ。け。し。と。ま。あ。ふ。  
妻の戸名  
妻もいひく 松 モニ。ア。ル。母。ま。う。海。ハ。す。く。さ。が。  
はやくとあや  
 この言ハ。マア。ぢく。せ。し。病。上。先。ぢく。と。云。て  
 初書。そ。り。く。ぢ。ハ。引。れ。ま。ん。一。筆。一。本  
 實。ふ。志。が。く。り。ね。し。口。唇。す。く。ま。り。と。さ。ふ。の。こ。









箱崎町

二丁目

コ目とら海とくえふ。里 フウ抄りうふ  
 夢と身とて飛ぶものと何のともえん人  
 松ワウ四角の出れちや。トウモロシまが無くい  
 ナニとみさ。この書とく。人かう。海とみ海  
 といふか。里 といふ。飛ぶんせが。表  
 サアとの飛候のま。い。こ。が。人か。う。書  
 くら。ぞ。み。書。ん。が。着。者。に。通。る。り。て。

おわが難のりを考のんぐ。ふあ。ん。い。か。月。  
 おも。働。く。金。を。か。里 けり。や。海。ん。と。録。  
 トウモ。愛。の。肉。ハ。被。ん。が。か。こ。う。り。い。う。と。た  
 事ハ。出。来。い。せ。様。こ。は。う。う。い。ん。と。録。上。松。ワ  
 い。か。ら。是。ち。や。う。人。か。う。う。書。も。い。し。録。と  
 くら。い。い。こ。う。い。ま。く。の。書。と。と。里 下  
 能。は。い。り。見。あ。ん。ふ。初。書。う。修。身。を



そまゝに 垢漬<sup>いづけ</sup>し かん一<sup>い</sup>と ぶが せり かく せし  
はらちぶ ざうら<sup>ら</sup>く の せし せり かく せし  
さふ せり せり せり せり せり せり せり  
若し の の せり ざうら<sup>ら</sup>く 思ひ かんす。 せり  
さう せり せり せり せり せり せり せり  
ちり せり せり せり せり せり せり せり  
せり せり せり せり せり せり せり せり

里<sup>リ</sup> カア せり せり せり せり せり せり せり  
[里] せり せり せり せり せり せり せり  
里<sup>リ</sup> せり せり せり せり せり せり せり  
せり せり せり せり せり せり せり せり  
の せり せり せり せり せり せり せり  
で せり せり せり せり せり せり せり せり  
せり せり せり せり せり せり せり せり







名  
二丁目

まのうまのうま  
 三人 抄  
 後里  
 一ッ庵  
 一ッ庵



振鷲亭新日記 全三冊

大平樂巻物 全

道中辨語録 全

愚人男居續借金 全

深川新話 全

深川拜見 全

南谷先生文集 全

世説新語座 全

只今、この書は、  
 まい、とら、まら、た、ま、ぬ、の、ま、り、こ、み  
 か、は、た、ま、り、下、ま、の、ま、り、ま、り  
 これ、ハ、ダ、リ、と、ひ、ね、ん、て、い、合、物、井  
 沃、の、地、ま、り、ま、の、ま、り、ま、り、ま、り  
 尚、世、五、人、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り  
 外、小、仲、町、の、大、一、を、ま、り、ま、り  
 此、中、を、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り  
 伊、も、腹、や、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り  
 深、川、の、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り  
 此、の、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り  
 言、海、の、風、俗、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り  
 者、の、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り  
 深、川、山、下、い、る、は、の、三、ッ、の、極  
 秘、傳、の、ま、り、ま、り、ま、り、ま、り





甲驛新話 全

そのしを年日信のおま昌  
るまの比中野のあまひをまらん

狛野甲園 全

これら同じく空をまはるる  
びひうまらるるあまひをまら

賣花新驛 全

おまの次のま男八幡の内政  
家名をうたあまひをまら

通人枕詞 全

やがまのまの甲町のまらねを  
の山びとまの風俗とまら

遊里怪談 全

まらまの川流川新流のま  
りまの遊のまらとまら

高揚枝 全

まらまのまのまのまのまのま  
てんまのまのまのまのまのま

晒落本類目録

江戸橋四日市  
上總屋利兵衛





